

**令和2年度**

**「運営に関する計画・自己評価(最終評価)」  
及び「学校関係者評価報告書」**

**大阪市立三軒家西幼稚園**

**令和3年3月**

## 1 学校運営の中期目標

### 現状と課題

- 昨年度は、園内の異年齢交流活動を幼児の実態や変容、育ってほしい姿に合わせて計画的かつ柔軟に設定・実施したことで、子どもたちが親しみや愛着を感じながら、異年齢児との関わりを深め、心の育ちにつながった。  
また、地域の方や小学校との交流活動を重ね、地域の人たちの存在を知り、地域の方々やさしく関わってくださる喜びや安心感を味わったことで、身近な人たちと関わる楽しさを体感していた。
- 今年度、3歳児と4歳児の新入園児を迎えた。昨年度同様に、子どもたちが親しみや愛着を感じながら安心して園生活を送ることができるよう、園内の異年齢交流活動を充実させると共に、今年度実施が可能な交流活動内容を検討・実施・評価していく。  
さらに、教職員が幼児の実態を多角的に捉え、共通理解を図りながら、子どもたちが豊かな経験を積み重ねることができるよう、保育を行う。

### 中期目標

#### 【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

- 令和2年度の保護者アンケートで、「自分や友達の良いところや好きなどころを知っている」という内容の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を80%以上にする。
- 令和2年度の保護者アンケートで、「きまりや約束の意味を分かり、守ろうとしている」という内容の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を80%以上にする。
- 令和2年度の保護者アンケートで、「地域や小学校・保育所などとの交流に興味・関心をもって参加している」という内容の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を80%以上にする。

#### 【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

- 令和2年度の保護者アンケートで、「身近な自然物に関心をもつようになった」という内容の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を80%以上にする。
- 令和2年度の保護者アンケートで、「新しいこともやってみようとする意欲が見られるようになった」という内容の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を80%以上にする。
- 令和2年度の保護者アンケートで、「幼稚園に通うようになって、体を動かすことが好きになり、体力が向上した」という内容の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を80%以上にする。
- 令和2年度の保護者アンケートで、「自分の体や健康への興味・関心が高まった」という内容の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を80%以上にする。

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

### 【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

- 保護者アンケートで、「自分や友達の良いところや好きなところを知っている」という内容の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を80%以上にする。
- 保護者アンケートで、「きまりや約束の意味を分かり、守ろうとしている」という内容の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を80%以上にする。
- 保護者アンケートで、「地域や小学校・保育所などとの交流に興味・関心をもって参加している」という内容の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を80%以上にする。

### 【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

- 保護者アンケートで、「新しいこともやってみようとする意欲が見られるようになった」の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を80%以上にする。
- 保護者アンケートで、「身近な自然物に関心をもつようになった」の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を80%以上にする。
- 保護者アンケートで、「幼稚園に通うようになって、体を動かすことが好きになり、体力が向上した」の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を80%以上にする。
- 保護者アンケートで、「自分の体や健康への興味・関心が高まった」の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を80%以上にする。

## 3 本年度の自己評価結果の総括

- 新たな生活様式に合わせた内容で、幼児の生活や遊び・多様な活動を総合的にとらえた中期目標・年度目標を立てた。年度目標を視点とした幼児の実態を把握し、幼児・教職員・保護者全体に対して必要とされる取組内容や指導方法を検討・反省・活用することができた。
- 項目や取組の重点の置き方について  
項目や取組の重点設定において、幼児の実態や生活経験、教師のねらいや願いを考慮したため、適切に設定することができたと考える。
- 目標に対する評価・課題について  
すべての項目（視点）において、保護者アンケート・教職員の分析・評価を考慮したうえで、年度目標を達成することができた。次年度も新たな生活様式に基づき、幼児の実態に合わせた取組内容や指標を考え、保育実践を行う。

大阪市立三軒家西幼稚園 令和2年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した  
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】1-1</b></p> <p>園の年度目標</p> <p>保護者アンケートで、「自分や友達の良いところや好きなところを知っている」という内容の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を80%以上にする。</p>	A

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】</p> <p>各クラスの実態や興味・関心、発達段階に合わせて、自分の思いを出し、互いを認め合うための活動や集団づくりを実践する。</p>	A
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員間で多角的な視点から幼児理解を深め、実態等に即した活動内容や子どもの変容について話し合いを月2回行う。</li> <li>・活動後の評価を行い、事後の保育に活かす。</li> </ul>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
<p><b>【年度目標】</b> について</p> <p>今年度末の保護者アンケートにおける「自分や友達の良いところや好きなところを知っている」の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の割合を95%にすることができた。</p> <p><b>【取組内容】</b></p> <p>○登園時からの子どもの様子や自発的な遊びの中で意欲的に遊びに取り組む姿、クラスや園全体の活動に参加する姿、教師・友達だけでなく身近な物やことに関わる様子とその時の子どもの表情やつぶやきから、それぞれの教職員が感じたこと、考えたこと、気づきについて、月2回にこだわらず日常的に話し合ったことが一人一人の姿を多面的に捉え、より幼児理解を深めることにつながった。</p> <p>また、話し合いの中で同じ場面や同じ子どもの姿を見た時に、捉えが異なる多様な意見を聞き、共通理解したことで、教職員の实態把握や幼児理解に対する学びが深まり、以後の保育実践に活かすことができた。</p> <p>○日々の子どもの姿や気づきを中心に保育記録として取り続けたことで、クラスの現状や課題を明確に捉えたり、子どもたちの興味・関心がどのように変化しているのか、また子どもたちが自分の思いをどのような形で表現し、教師自身がどのように受けとめたのか等、保育の振り返りを翌日の保育や子どもへの関わりに活用したりすることができた。</p>

○『遊びの中で幼児の学びの姿を捉え、豊かな経験につなげる』という研究テーマをもとに各クラスの実践記録を取り、定期的に検討会を行った。その記録から、子どもの思いや心の成長、教師の教育的意図をもった働きかけが子どもの変容にどのようにつながっていったのかを話し合い、記録から子どもの姿を読み取ったことで、さらに多角的な視点で子どもの姿を捉えることができた。

○各クラスの実態に合わせて、自発的な遊びの振り返りや子どもたち自身が気づいたこと、考えたことについて、機を捉えながら話し合いを行った。一人一人の思いや考えたことを教師・クラスの友達が聞いたり、受けとめ合ったりしたことで、安心して自分の思いを出すことができるようになってきた。

特に5歳児は、『自分や友達のいいところ・すきなところさがし』として、自分のいいところ・すきなところについて保護者と話をしたり、クラス全体で自分や友達のことを一人一人思い浮かべながら話し合ったり、保護者に紙に絵や文字で書いてもらったり等、様々な遊び（歌を歌う「ともだち」、絵本を読む「ええきもちええかんじ」「ええやんそのまま」）を重ねてきたことで、友達や保護者の良い所を意識し、自分と同じ所や違う所を大切に思うことができるようになった。

○降園時に子どもの姿や変容を全園児、各クラス、個別に伝達する等、その知らせたい内容に合わせて、伝え方を変える等の工夫をした。

また、園内に掲示していた子どもたちの保育中の写真を降園時に、園庭で見ることができるように、可動式の掲示板や通用門脇の壁面を活用したことで、よりわかりやすく伝えることができた。その他、行事前や学期末に写真入りのクラスだよりを配布し、様々な遊びに取り組む子どもの姿や心の成長、友達との関わりの変容等について知らせることができ、保護者啓発につながった。

#### 次年度への改善点

○日常生活の中でのお互いの良さを知り、各クラスの実態や発達段階に合わせて、受けとめたり、認め合ったりすることができるような保育内容を考え、事後の振り返りや評価を生かしていく。

○自発的な遊びやクラス活動の中で、自分の思いをのびのびと伝え合うことができるよう、日頃から信頼関係を築き、安心して過ごすことができるようにしたり、一人一人の実態に合わせた言葉かけをしたりする。

○保護者啓発、また教職員の人権感覚を高めるため、子ども・保護者・教職員それぞれの良いところを積極的に見つけ、日々自分の言葉で相手に伝えることができるようにする。

大阪市立三軒家西幼稚園 令和2年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した  
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】1-2</b></p> <p>園の年度目標</p> <p>保護者アンケートで、「きまりや約束の意味を分かり、守ろうとしている」という内容の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を80%以上にする。</p>	A

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容②【施策2 道徳心・社会性の育成】</p> <p>園内外で友達と心地よく過ごしたり、遊びをより楽しくしたりするためのきまりやルールを身につけようとする。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児の実態に合わせたねらいや指導内容を決めて、指導方法を工夫する。</li> <li>・保護者に指導内容や子どもの変容等を月1回知らせ、理解につなげる。</li> </ul>	A

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
<p><b>【年度目標】</b> について</p> <p>今年度末の保護者アンケートにおける「きまりや約束の意味を分かり、守ろうとしているの項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の割合を97%にすることができた。</p> <p><b>【取組内容】</b></p> <p>①遊びや活動の中できまりや約束について、各学年の幼児の実態を捉えて必要とするねらいや指導内容を設定し、指導を行ったことで、子どもが友達同士で楽しみながらきまりなどをつくり、守るようになった。（別紙参照）</p> <p>②新型コロナウイルス感染症対策の指導として、友達や教師との安全な距離感や手洗い・うがい・消毒の習慣、適宜、自分で使った遊具の消毒を行う（保育後に教職員が再消毒済）など、機会を捉えて行ったことで、子ども自身が、自分や友達の身を守るためのきまりやその内容について考えたり、友達と心地よく且つ安全に過ごすことができるように、教師と環境を整えたりすることができるようになった。</p> <p>③保護者に、園での取組と指導後の幼児の意識の変化、手洗い・うがい・消毒の大切さと適切なし方を知る、弁当時には、飛沫を防ぐために話をしないで食事するなどの指導を具体的に伝えたり、特にコロナ対策に関しては、家庭でも継続して取り組めるように声をかけたりしたことで、保護者の幼児理解につながり、家庭との連携も図ることができた。</p>
次年度への改善点

- クラスの実態に応じて、遊びをさらに楽しむためのきまりや約束について考える機会を逃さず子どもたちが中心となり、ルールを考え、つくることができるようにする。
- 新しい生活様式について再確認したり、改めて丁寧にその必要性を知らせたり、状況に応じて臨機に変更したりして、進んで習慣化していく。
- 保護者にクラスでの取組を具体的に知らせたり、写真掲示をしたりするなど、教職員がさらに保護者にわかりやすく伝えることができるように意識し、実践する。

大阪市立三軒家西幼稚園 令和2年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した  
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】1-3</b></p> <p>園の年度目標</p> <p>保護者アンケートで、「地域や小学校・保育所などとの交流に、興味・関心をもって参加している」という内容の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を80%以上にする。</p>	A

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】</p> <p>異年齢児や身近な地域の人たちに親しみがもてるような活動を楽しむ。</p>	A
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼児の実態や発達段階、興味・関心に合わせた年間計画を立て、実施する。</li> <li>・ 事後の評価を行い、保育に生かす。</li> <li>・ 保護者に視覚物等を用いて、活動のねらいや内容、子どもの育ちを月1回知らせる。</li> <li>・ ホームページや掲示板を活用し、地域の人たちにも取組内容を知らせ、幼稚園教育への理解につなげていく。</li> </ul>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
<p><b>【年度目標】</b> について</p> <p>今年度末の保護者アンケートにおける「地域や小学校・保育所などとの交流に、興味・関心をもって参加している」の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の割合を%にすることができた。</p> <p><b>【取組内容】</b></p> <p>○新しい生活様式を取り入れたことで、従来の交流活動を中心とした年間計画は修正する点が多くあったが、その分、今年度ならではの友達や地域との新たな関わり方（特に気持ち・精神面での関わり）を考え、実践することができた。</p> <p>ア、異年齢児との関わり</p> <p>お互いの存在に気づき、親しみや愛着がもてるように、他のクラスの遊びを教師が子どもに知らせ、異年齢児の遊びに興味をもたせながら遊んだり、異年齢児の友達の話やクラスで積極的に知らせ合ったり、教師が子どもたちに他のクラスへのおつかいをお願いしたりしたことで、異年齢児への関心が高まり、親しみや愛着をもつようになってきた。また、5歳児の姿に憧れの気持ちをもつようになった。</p>



そのような姿の中には、3歳児が自分のつくったものやかいたものを2階の5歳児の保育室まで見せに來たり、自発的な遊びの時間に、4・3歳児がお互いの保育室の遊びの場を行き來し、関わり合いながら遊んだりする姿があった。

また、5歳児の修了が近づき、子ども自身がお互いに感謝の気持ちを感じていたため、各クラスで話し合いを行い、就学や進級を励ましたりするためのお別れやお祝いの言葉を考えたり、プレゼントするための歌を歌ったり、プレゼントをつくったりして、お互いに気持ちを伝え合うことができるようにした。

#### イ、地域との関わり

地域との心の交流をもつことができるように、近隣の岩崎橋公園へ散歩に行き、花壇の水やりをしたり、クリーンアップ作戦や落ち葉集めを行ったりした。

また、5歳児が就学予定の小学校に興味・関心をもち、期待を高めることができるよう、進学先の小学校6校の校舎や校庭、1年生の教室や自然物などの写真を撮影し、それぞれの小学校紹介を行ったり、小学校からいただいた学校紹介のDVDを見たり、小学校の先生に自分たちの質問に答えていただいたりしたことで、進学先への小学校に親しみを感じ、1年生になることへの安心感をもつことができた。

○降園連絡時や写真掲示を用いて、異年齢の友達と楽しみながら関わる姿や地域との関わりの積み重ねについて、具体的に知らせたり、実際の関わりを見てもらったりしたことで、子どもの変容や成長についての理解が深まった。

また、幼稚園のホームページに、園の様子や子どもたちの遊ぶ姿、変容、教師の願い等をアップすることで、園内外の方々に教育内容や日々の取り組みを知らせることができた。

#### 次年度への改善点

- 新年度の子どもの実態を把握し、生活状況に合わせた異年齢児の交流活動を考えたり、異年齢児が自然に関わることができるよう（精神的な関わりが中心）、教師が常に関わりへの意識を高くもち、言葉がけ等の援助をしたりする。
- 5歳児が中心となり、子どもの姿や興味・関心に合わせて明確なねらいをもち、近隣の公園や小学校との関わりを積極的に進めていくようにする。
- 保護者啓発として、視覚物を適宜活用する。玄関内の写真掲示板の設置が効果的だったため、今後も積極的に活用したり、通用門脇の壁面等も柔軟に活用したりして、広く保護者に教育内容や子どもの変容を知らせていく。

大阪市立三軒家西幼稚園 令和2年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】 2-1</b></p> <p><b>園の年度目標</b></p> <p>保護者アンケートで、「やってみようとする意欲が見られるようになった」の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を80%以上にする。</p>	A

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策4 全ての基礎となる幼児教育の普及と質の向上】</p> <p>子どもが、主体的に遊びや活動に取り組み、豊かな経験を積み重ねることができる環境を整える。</p>	A
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼児の実態や興味・関心に合わせた環境づくりや遊びの内容等について、教職員間で話し合う機会を月2回もつ。</li> <li>・ 保護者に、子どもの姿やその変容を月2回知らせ、理解につなげる。</li> </ul>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
<p><b>【年度目標について】</b></p> <p>今年度末の保護者アンケートにおける「やってみようとする意欲が見られるようになった」の項目について「そう思う」「だいたいそう思う」の回答の割合を97%にすることができた。</p> <p><b>【取組内容】</b></p> <p>○子どもの実態や興味・関心に合わせた環境づくりや遊びの内容等について、教職員間で話し合う機会を月2回以上もったことで共通理解しながら、環境を整えることができ、別紙のように取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育後の時間を利用し、教職員間で各クラスの遊びの内容や子どもの姿を共有した。また、各クラス全てが園内研究を行って保育を参観し合い、子どもが主体的に遊ぶ姿とは、その際の教育的な働きかけはどうであったかを研究討議をし、教員の資質向上につなげた。教職員間で話し合う機会を設けてきたことで、多面的に子どもの姿を捉えることができた。</li> <li>・ 日々の保育指導案や実践記録に遊びの中での子どもの様子を記録し、記録から子どもの興味や関心、遊びの中での子どもの姿の変容を読み取り、保育内容を振り返った。実践記録の検討会では、遊びの中での子どもの学びの姿について分析し、取り上げた子どもの姿を共通理解することができた。記録の検討会をしたことで、今後の保育展開を考え、豊かな経験を積み重ねる環境づくりについて、試行錯誤しながら日々の環境構成を見直す機会となった。</li> <li>・ 研究部での研究発表や集録作成に向けて、さらに子どもの実態や興味や関心をもっているこ</li> </ul>

とについて情報共有をし、子どもの育ちに必要な援助や豊かな経験について話し合うことで、多面的に子どもの姿を読み取ることができた。その読み取りから保育室や園庭の環境を再構成し、子どもたちがより主体的に遊ぶ姿へとつながった。

- 降園時での担任からの話やクラスだよりの紙面の配布、写真掲示など、保護者に月2回以上子どもの姿や変容を知らせることができた。
- ・降園時に子どもの様子を口頭で知らせたり、写真や文章で掲示をしたりして、子どもの姿やその変容を知らせてきた。また、預かり保育を利用している保護者にも、その日の子どもの姿やその変容を伝える機会をもった。コロナ禍で保護者に実際の子どもの様子を見てもらうことが難しかった分、どのように伝えるか各クラスの担任が工夫をする姿が見られた。玄関の壁や可動式の掲示板、通用門脇の壁を利用したりして、子どもの活動の様子や話し合いでできた子どものつぶやきなどを写真に書き加えたものを掲示し、より分かりやすく伝えることができた。
- ・学期末や運動会や作品展などの行事ごとにクラスだよりにして運動会までの子どもの様子を知らせたり、作品展のしおりに作品をつくったときの子どもの姿や思いを掲載したりして、普段の様子と合わせて、行事までの幼稚園での取り組みを知らせた。活動時の写真やそのときの子どもをつぶやきを一緒に掲載したことで、遊びを楽しむ様子や遊びの流れをイメージすることができ、「家庭でも明日もしたいと話をしている」「幼稚園で経験したことを家庭でも楽しんでいる」という声が聞かれた。繰り返し遊ぶ中で、夏には、幼稚園で経験したセミの抜け殻探しを降園後や夏休み中にも継続し、集めた抜け殻を幼稚園に持ってきて教師や友達に見せたり、作品展後には、「車つくりたいから大きな箱持っていく」と、家庭から箱やカップなどの素材を持ってきてつくったりして、「明日も続きがしたい」と継続的に遊ぶ姿が見られるようになった。

#### 次年度への改善点

- ・「やってみようとする意欲が見られるようになった」の項目について「そう思う」「だいたいそう思う」の回答の割合を97%にすることができた。
- 今後も、日々の保育での子どもの姿を教職員間で伝え合う機会をもち、多面的に子どもの姿を捉えられるようにする。また、子どもが主体的に遊べるように子どもの興味、関心に即した保育内容や環境構成を工夫していく。
- 保護者が子どもの姿やその変容を理解できるように、さらに伝え方を工夫していく。

幼児の実態や興味・関心に合わせた環境づくりや遊びの内容等

遊び	○環境構成・遊びの内容 ・準備物
砂遊び	<p>○ごちそうに見立てて遊べるように机やベンチなどを用意したり、砂山を飾ったり、ごちそうに見立てたりして遊べるように、子どもと自然物（葉、実、枝、花）を拾った。</p> <p>○つくった砂山や穴の高低差を利用して、といをつなげて砂や遊具、水を流して遊んだ。</p> <p>・スコップやバケツなどの遊具、花や枝・葉などの季節に合わせた自然物、机やベンチなど</p>
水遊び	<p>○手をつけて遊んだり、水を汲んで遊んだりできるようにたらいを用意した。</p> <p>○花を浮かべて視覚的に楽しんだり、水と一緒に花をビニール袋に入れて感触を楽しんだりできるようにした。</p> <p>○新しい生活様式に対応し、個人で使えるように一人一つずつペットボトルシャワーを用意して、水遊びの環境を整えた。</p> <p>○テントを立てたり、ミストを設置したりして、暑さ対策を施しながら安全に遊べるようにした。</p> <p>○スーパーボールや金魚の遊具を用意し、すくって遊べるようにした。</p> <p>・ペットボトルシャワー、ジョウロ、ホース、ミスト、たらい、ビニール袋、花、スーパーボール、ぼいなど</p>
色水遊び	<p>○自分たちで育てた花を使って遊びやすいように、植木鉢の位置を遊びの場の近くに移動した。</p> <p>○手で揉んで色を出したり、すり鉢とすりこぎで花をつぶして色を出したりなど、自分で遊ぶ方法を選んで色水遊びを楽しめるように工夫した。</p> <p>○つくった色水を入れる容器や並べる場所を用意し、さらに遊びが発展するようにした。</p> <p>・ボール、すりこぎ、すり鉢、スプーン、個人で育てた花（パンジー）など</p>
泥遊び	<p>○着替えを多めに用意してもらい、全身を使ってのびのびと遊べるようにした。</p> <p>○感触が苦手な子どもに配慮して、ジョウロやペットボトルシャワーなどの遊具を用意した。</p> <p>・たらい、ペットボトルシャワー、ジョウロ、バケツ、砂場遊具など</p>
泡遊び	<p>○せっけんを子どものもちやすい大きさに切り、遊びを広がりやすくした。</p> <p>○つくった泡を入れる容器や並べる場所を用意したり、お店屋さんの看板を子どもと一緒につくったりして泡屋さんを楽しんだ。</p> <p>・せっけん、泡だて器、すりおろし器、ボール、スポンジ、スプーン、ヤクルト容器、ペットボトル、プリンカップなど</p>
虫探し、虫取り	<p>○身近な生き物に見たり、触れたりして親しめるように飼育ケースを準備し、保育室のよく見える場所で飼育した。</p> <p>○身近な生き物に興味や関心がもてるように絵本を読み、図鑑や絵本を手にとれる場所に置いておいた。</p> <p>○見つけたセミの抜け殻と一緒に数えたり、良く見える場所に掲示したり、</p>

	<p>様々な活動を重ねて関心がもてるようにした。</p> <p>○生き物を大切に思う気持ちをもてるように、子どもと一緒に生き物の世話をしたり、名前を一緒に考えたりした。また、死んでしまった時も、土に埋めたりその時の悲しい気持ちを話して共有したりした。</p> <p>・飼育ケース、バケツ、図鑑、絵本、表示など</p>
粘土遊び	<p>○新型コロナウイルス感染予防の観点に気をつけながら感触を楽しんだ。</p> <p>○丸めたり伸ばしたりして形が変わる面白さを感じて遊べるように、個人の粘土や個人のテーブルや個人ロッカーを準備し、好きなときに遊べるようにした。</p> <p>○自分で粘土に好きな色を付けたり、飾りをつけたりして、さらにイメージを膨らませて遊べるように油性ペンや自然物、各種素材を用意した。</p> <p>・粘土、粘土版、粘土ケース、個人で出し入れできるテーブル、紙粘土、油性ペンなど</p>
素材遊び	<p>○様々な素材に触れ、並べたり、組み合わせたりして遊べるように各家庭から廃材を持ってきてもらった。</p> <p>○それぞれの素材の大きさや形の面白さを感じられるように、一緒に遊ぶことを楽しんだ。(積み重ねたり、並べたり、転がしたり、叩いたりなど)</p> <p>○好きな素材を選んで使えるように、素材の種類ごとに分けて置いた。</p> <p>○組み合わせたものを見立てたり、イメージしたものをつくったりする面白さを感じられるように色々な素材を用意した。</p> <p>・箱、ペットボトル、カップ、紙パック、包装紙、リボン、ガムテープ、セロハンテープ、ビニールテープなど</p>
木さんありがとう活動	<p>○工事でなくなってしまう木へ気持ちを寄せ、木の本数を数えたり、探検ごっこ(自然物集め)をしたりして、集めたもので製作をしたりして遊んだ。</p> <p>○集会を行い、木へ感謝の気持ちを伝えるために木々へのプレゼントづくりをしたり、木の絵をかいたりしたことで木々への感謝の気持ちや愛着をもつことができた。</p> <p>・紙、鉛筆、探検バック、画用紙、ビニールテープ、絵具など</p>
運動会ごっこ(リレー遊び)	<p>○運動会での年長児の姿に刺激を受け、バトンを持って円周上を走る姿が見られるようになった。</p> <p>○円周の中に入ったり、大回りをしたり、順番を抜かしたりすると遊びが成り立たないことに気付き、話し合いの時間を設けたことで自分たちで知らせ合いながら遊ぶようになった。</p> <p>○はじめは、教師が環境を整えていたが、遊びに必要なものを自分たちで集めたり、配置したりして遊ぶようになった。</p> <p>○人数が足りないときや人数に偏りがある時には、お互いに声をかけ合ったり、次の走者に順番を知らせたりして、自分たちで遊びをすすめるようになってきた。</p> <p>○自分のチームの友達だけでなく、違うチームの友達も応援するようになり、友達のことを励ましたり、認めたりするようになった。</p> <p>・白線、バトン、三角コーンなど</p>

<p>お店屋さんごっこ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○お家ごっこからお店屋さんごっこに発展し、ものや言葉のやり取りを楽しむようになってきた。</li> <li>○素材をごちそうに見立てて、鍋やフライパンで調理したり、皿や容器に入れたりして遊べるように環境の工夫を行った。</li> <li>○買ってきたものを鞆に入れて持ち歩けるように、鞆を用意したり、買ってきたものを食べられるように近くに机を用意したりしたことで、お客さん役を楽しむ子どもの姿も見られた。</li> <li>・素材、皿、弁当容器、コップ、ごちそう、机、トング、トレーなど</li> </ul>
<p>コマ回し</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子どもの発達に合わせて手回しコマや紐コマなどを用意し、コマ回しを楽しんだ。</li> <li>○コマに自分の好きな色や模様を付け、自分のものに愛着を持つ姿につながった。</li> <li>○色や模様をつけたことで回ったときに、色や模様の美しさを感じる姿が見られた。</li> <li>○回るようになるまで、自分なりに回し方を工夫する姿が見られた。</li> <li>○安全に遊べるように友達と距離を保てるように回す前に互いに声かけをするようにした。</li> <li>○素材をそばに置き、子どもたちがコマ回しの板に装飾をつけ、コマ回しをより楽しめるように場を工夫した。</li> <li>・コマの板、コマ、段ボールやビニールテープ、幼児机、ホワイトボード など</li> </ul>

★新型コロナウイルス感染拡大予防の観点より、保育後に使用した遊具や用具を消毒した。

大阪市立三軒家西幼稚園 令和2年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】 2-2</b></p> <p><b>園の年度目標</b></p> <p>保護者アンケートで、「身近な自然物に関心をもつようになった」の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を80%以上にする。</p>	A

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容②【施策5 子ども一人一人の状況に応じた学力向上への取り組み】</p> <p>友達や教師と共に、季節が感じられる遊びを存分に楽しむ。</p>	A
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・月1回、季節が感じられる遊びの内容や指導方法、環境構成について話し合う。</li> <li>・保護者に季節が感じられる遊びへの取り組みや子どもの育ちについて、月1回知らせる。</li> <li>・教職員が自然環境や栽培活動への知識を深め、保育や園内環境の整備に活用する。</li> </ul>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
<p><b>【年度目標】</b>について</p> <p>今年度末の保護者アンケートにおける「身近な自然物に関心をもつようになった」の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の割合を93%にすることができた。</p> <p><b>【取組内容】</b></p> <p>○草花や野菜の栽培の仕方や時期などについて、教師間で情報交換し共通理解を図りながら環境を整えたことにより、教職員の知識を深めることができ、保育内容に生かすことができた。</p> <p>○園庭にある樹木や、育てている植物の芽が出たり花が咲いたりした様子や花のにおいなどに気付けるように掲示物で知らせた。また、水やりや収穫など、子どもたちが継続して関わることができるようにしたことで、季節の植物や自然物への関心が高まり、大切に作る姿にもつながった。</p> <p>その時期々々の自然物を、色水、製作の材料、鑑賞用の飾りなどとして保育に取り入れたことで、季節感を味わいながら活動することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1学期…サクラ サクランボ ビワ ネム ブドウ</li> <li>パンジー ビオラ ペチュニア ベゴニア テルスター</li> <li>ユリ ガクアジサイ サルビア マリーゴールド マツバボタン</li> <li>センニチコウ コダカラソウ ヒョウタン ゴーヤ キュウリ</li> <li>チューリップの球根取り 菜の花の種取り</li> <li>アサガオ、ヒマワリの種まき</li> </ul>

夏野菜（レジナ、フルーツトマト、オクラ、ナス、ピーマン）の苗植えと収穫  
サツマイモの苗植え

- ・ 2 学期…夏野菜の収穫 ラディッシュの栽培と収穫  
アサガオのツルの片付け ヒマワリの種取り  
サツマイモ（芋掘り）  
ケイトウ ドングリ マツボックリ 落ち葉  
個人鉢での寄せ植え（チューリップ、パンジー、ビオラ、ムスカリ、クロッカス）  
ドライフラワーづくり（センニチコウ、マリーゴールド）  
フジのツルでリースづくり

- ・ 3 学期…ウメ モクレン キンカン など

○園庭にいる小虫探しの遊びの際に、保育室にいつでも見られるように図鑑を置いたり、個人用の持ち歩き用のミニ図鑑、虫眼鏡、飼育ケースの活用を行ったりした。そのことにより、観察や飼育につながり、生き物に親しみをもったり、命の大切さを感じたりすることができた。

モンシロチョウ アゲハチョウ ダンゴムシ セミ カブトムシ  
キンギョ メダカ カメ カエル ザリガニ など

○自然物が出てくるダンスや歌、遊びを計画的に取り入れたことで、子どもが自然物に興味・関心や親しみをもったり、季節感を感じたりすることができた。

また、園庭の工事による樹木の伐採に当たり、園庭の木々に触れ合う活動（「木さんありがとう活動」）を計画、実施したことで、木々への感謝の気持ちや愛着、命の大切さを感じ、子どもたちの心の成長が見られた。

○降園時に、保護者に遊びの様子を伝え、収穫したものを持ち帰る、遊びの様子を写真に撮り掲示するなどして、園にある自然物や季節が感じられる遊びの取組を知らせた。また、子どもが家庭から公園に行った際に見つけた秋の木の実を園の遊びに活用したり、保護者にその様子を知らせたりしたことで、家庭でも休日等に、子どもと一緒に自然物集めをするなどの関心につながった。

#### 次年度への改善点

- 園庭の工事後の環境整備を行う。また、季節の植物に関する掲示物や絵本等を更に活用し、動植物への興味・関心がもてるようにする。
- 教師自身が自然物に対する知識を更に深めたり、自然物の生長に関心をもったりし、子どもが自然物の不思議さや尊さを感じられるようにする。
- 保護者に、子どもの気づきや心の成長を知らせるように自然物を取り入れた保育内容の伝え方を工夫する。



## 2-2

## 自然物を取り入れた保育内容と子どもの気付きや育ち等

遊び	○遊びの内容 ◎子どもの気付きや育ち等
色水遊び	<p>○パンジーやペゴニア等の花びらをビニール袋に入れて揉んだり、すり鉢とすりこぎですりつぶしたりして花の色を出し、色水のジュースづくりなどをした。</p> <p>◎花の種類や花びらの量の違い、花びらの色の組み合わせによって、色水の色が違うことに気づいた。</p> <p>◎花びらを使いすぎないようにし、個人鉢で育てている花を大切にしようとする姿が見られた。</p>
ごっこ遊び (○○になって遊ぶ)	<p>○園庭で見つけた小虫や飼育している生き物(チョウ、ダンゴムシ、カエルなど)になりきって遊ぶ。</p> <p>◎生き物に興味をもち、チョウの飛ぶ様子やカエルのジャンプの様子など、生き物の動きを自分なりに発見し表現していた。</p>
体操、ダンス、歌	<p>○季節の植物や生き物が出てくる体操やダンス(「サクランボ体操」、「カエルのみどりちゃん」、「どんぐりみつけたよドン!」など)をする。</p> <p>○季節の植物や生き物が出てくる歌(「とんぼのめがね」、「虫の声」、「おいもごろごろ」など)を歌う。</p> <p>◎出てきた自然物への関心が深まり、季節感を感じていた。</p>
絵をかく 製作遊び	<p>○飼育している生き物を見ながら絵をかいた。</p> <p>○ドングリやマツボックリをつかって飾りをつくったり、ドングリころがし遊びのコースづくりをしたりした。</p> <p>◎生き物をよく観察し、昆虫の足の数や毛が生えていること、色、においなどに気づいた。</p> <p>◎植物の大きさや形、色の違い、季節の移り変わりに気づいた。</p>
木さんありがとう 活動・集会	<p>○園庭の木々の名札づくりや、落ち葉や枝をつかった製作遊びをした。また、木の絵をかいたり、ブルーベリーの木を植え替えをする様子を見たりした。</p> <p>◎木々への感謝の気持ちや愛着をもち、命の大切さを感じた。</p>
岩崎橋公園での水やり・クリーンアップ作戦	<p>○公園の花壇の水やりや落ち葉拾いをした。</p> <p>◎落ち葉の感触や、踏んだ時の音の違いを感じていた。</p> <p>◎公園の植物に親しみをもち、きれいにしたい気持ちや地域のためにがんばることの充実感を感じていた。</p>
氷づくり	<p>○園庭の防災バケツに氷が張っていたことを見つけ、さらに氷が張るような場所(冷たい風が当たりやすい場所など)を話し合い、通用門近くの3か所にバケツを置いた。</p> <p>◎氷をつついたり、手に取ったり、日に当たったりして、氷の冷たさや感触、光が反射する美しさや不思議さを感じていた。</p>
春さがし	<p>○掲示物で、園庭の木々のつぼみがふくらんでいることやウメの花が咲いてきていることを見たり、実際に見に行ったりした。</p> <p>◎昨年のもとも思い出しながら、ウメが何輪咲いているのかや、つぼみが日ごとにふくらんできている様子を観察するなど、春の訪れに興味や期待をもっていた。</p> <p>◎公園では違う色のウメが咲いていることに気づいた。</p>
小学校の自然物を見る	<p>○進学先の小学校紹介の写真の掲示物で、今まで園庭に植っていた木々と同じものがあることを見た。</p> <p>◎小学校にも幼稚園と同じように春の訪れが近いことを感じたり、就学への期待につながったりしていた。</p>

大阪市立三軒家西幼稚園 令和2年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】 2-3</b></p> <p>園の年度目標</p> <p>保護者アンケートで、「幼稚園に通うようになって、体を動かすことが好きになり、体力が向上した」の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を80%以上にする。</p>	A

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容③【施策7 健康や体力を保持増進する力の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常的に体を動かして遊ぶことを楽しむ。</li> </ul>	A
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各年齢の発達段階や興味・関心に合わせた体操・ダンスを月1曲取り入れる。</li> <li>・園内での取り組みを保護者に知らせたり、学期に1回一緒に体を動かす機会を設定したりする。</li> <li>・教師が体を動かす遊びの教材研究を深め、保育に活用する。</li> </ul>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
<p><b>【年度目標】</b> について</p> <p>今年度末の保護者アンケートにおける「お子さんは体を動かして遊ぶことが好きですか」の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の割合を98%にすることができた。</p> <p><b>【取組内容】</b></p> <p>○コロナ禍においても戸外で存分に運動遊びができるようスケーターやボールなど物を共有するときは軍手をつけたり事前に手指消毒をしたり、友達に両手を広げても当たらないよう声をかけたりして、感染予防対策に配慮してきた。</p> <p>また、園庭だけでなく三軒家西小学校校庭の空き時間を利用して鬼ごっこやリレーなど存分に体を動かして遊ぶことができた。</p> <p>友達や教師と一緒に思いきり体を動かしたことで、体も気持ちもほぐれ、「もっとやってみたい!」「次はこんなルールにしよう!」と自分の思いを出しながら友達と遊ぶ姿につながった。</p> <p>○月に一度、季節や興味に応じたダンスや体操の曲を取り入れたり、日々いろいろな動きを積み重ね片方の足だけでバランス良く立てるようになっていたり、両手両足を同時に動かせるようになってきたり、とできる動きが増えたことで、自分の思い通りに体を動かす楽しさにつながった。また、友達と楽しさを共有することで一緒に友達や教師に見てもらい、楽しさや嬉しさが満足感にもつながり、自分なりに体を動かして表現する楽しさを存分に味わうことができた。</p>

○子どもたちの興味・関心に合わせて好きなキャラクターになりきって遊べるよう、いろいろな素材で身に付けるものをつくる環境を構成したことが変身ごっこ遊びや体を動かす遊びにつながった。

また、手作りのハードルやトランポリンなどで繰り返し遊んだことがきっかけとなり、体幹が鍛えられたり体のバランスが自分でとりやすくなったりしたため、縄を地面に置いて水たまりに見立ててジャンプしたり、へビのように揺らして跳び越えたり、前跳びができるようになった。

#### 次年度への改善点

○コロナ禍により活動内容や環境面での制限がかかる中で、いかに友達と思いや楽しさを共有しながら体を動かすことができるか、引き続き柔軟に保育内容や指導方法を探り、積極的に実践する。

○常に子どもたちの興味・関心に合わせて、体を動かす楽しさや心地よさ、爽快感を味わえるようにする。

○引き続き、保護者にわかりやすく体を動かす遊びや取り組み、一人一人の変容や成長を知らせ、喜びを共有する。

大阪市立三軒家西幼稚園 令和2年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】 2-4</b></p> <p><b>園の年度目標</b></p> <p>保護者アンケートで、「自分の体や健康への興味・関心が高まった」の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を80%以上にする。</p>	A

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容④【施策7 健康や体力を保持増進する力の育成】</p> <p>『手洗い・うがい・消毒』についての保健指導を行い、自分の体や健康への関心を高める。</p>	A

<p><b>指標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・『手洗い・うがい・消毒』の大切さを知らせるための保健指導の年間計画を立案・実施・評価し、事後の活動に活用する。また、幼児の実態や変容に即して年間計画や具体的な指導内容を変更する。</li> <li>・実施した保健指導について視覚物や掲示・配布物等を活用して知らせ、家庭教育との連携を図る。</li> <li>・学期に1回、指導内容や子どもの変容を保護者に知らせる。</li> </ul>
--

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
<p><b>【年度目標】</b> について</p> <p>今年度末の保護者アンケートにおける「お子さんは、『手洗い・うがい・消毒』を行い、自分の体や健康への関心を持っていますか。」の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の割合を97%にすることができた。</p> <p><b>【年間計画・実施】</b> について</p> <p>年度当初の指導計画の通りに実施した。</p> <p><b>【取組内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○保健指導を行う際に、子どもの実態に応じた指導内容となるように、事前に主任、担任と検討し、学年に合わせた保健指導を行うことができた。</li> <li>○感染予防として毎日、登園後に手洗い・うがいをしてから保育室に入る習慣が身に付くように担任や、養護教諭が手洗い場でこまめに声をかけ指導した。そのことにより、子どもたちが進んで手洗い・うがいをする姿を見られるようになり、習慣化につながった。</li> <li>○石鹸を使用した手洗いの効果が視覚的にとらえやすいような指導の工夫として、でんぷんのりに手に塗り、石鹸を使用した手洗いと石鹸を使用しない手洗いを行った後にイソジンを吹きかけ染め出しし、洗い残しが見えてわかるように保健指導を行った。石鹸を使用した手洗いの重要性和年齢によっては手洗いの難しいところの確認となり、手洗いを丁寧に行う意識が高まる機会になった。</li> <li>○『鼻かみ』の保健指導では、絵本を用いて視覚的に鼻のかみ方を方法を確認できるようにした。</li> </ul>

ティッシュを鼻息だけで揺らす練習、一方の鼻に丸めたティッシュを入れもう一方の鼻を押さえて人がいない方向「ふんっ」と息をする練習をするなど年齢に応じて内容を変え、実際に行ってみた。後日、子どもたちから「自分で鼻をかめるよ！」などの声が聞かれたり、実際に自分で鼻をかみ、決められた場所に捨てるという約束も守る姿が見られた。

- 手洗いの手順を知らせる掲示物をつくり、手の洗い方について知らせた。掲示物を手順を確認したり、楽しみながら手を洗う姿が見られた。また、4、5歳児は昨年度の経験や習慣から生き物を触った後にも、自発的に手洗いをする様子が見られた。
- 『手洗い・うがい』について、『ほけんだより』に継続して掲載することにより、家庭でも手洗い・うがいをして感染症予防に取り組むよう啓発した。
- 降園時の連絡や各クラスでの連絡で声に出して読んだり、保護者に日々の取り組みや子どもの変容を知らせ、家庭でも、手洗い等の声かけを続けて行えるようにした。
- 各年齢で発達段階に応じてコロナウイルスについて正しい知識を得て、より意欲的に手洗い・うがいに取り組めるように次の通り保健指導を実施した。

- ・ 5歳児…コロナウイルスについての正しい知識を得るための話し合いを行い、新しい生活様式の手洗い・うがい・消毒の大切さについて、子ども自身が考える機会をもった。それにより、手洗い等の必要性を感じ、進んで行うなど、意識につながった。  
子どもたちがコロナウイルスについて、家庭やニュースで見聞きし、友達や担任と話をしている姿や内容を取り上げ、自分たちが身を守るための方法について、その都度前向きに話し合いを行った。また、なぜ、コロナ対応としてだけではなく手洗い等が大切なのかを子どもと考へ、日常的に行うことができる用意した。  
今までの積み重ね、保健指導、担任以外の声かけなどが自分がしっかり感染症の予防行動を行えているという自信につながり習慣化につながっている。
- ・ 4歳児…丁寧に手を洗っている姿を認めたり、手洗い・うがいについて、正しいしかたを知らせることで、習慣化できた。昼食時、子どもから声掛けして子ども自身が意識を持つことができた。保健指導を通して石鹸で手洗いすることの重要性と必要性を感じ、改めて意欲的に取り組めることができた。正しい手洗いの方法を歌と視覚物を通して保健指導を行った事で、自主的に楽しみながら丁寧に手洗いに意欲的に取り組めるようになった。子ども同士で手洗いをするよう声かけをしあう姿が見られ習慣化につながっている。
- ・ 3歳児…継続して、手洗いやうがいをしている姿をその個別に声掛けを行ってきたことで、基本的な生活習慣として身につけてきた。正しい手洗い方法を歌を通して保健指導を行う事で、歌詞に手の動きに合わせて楽しみながら丁寧に手洗いに取り組めるようになった。お茶を飲む前に必ず手洗いをするよう声掛けをした。運動会前には特に水分補給の機会が増え、だんだん自主的手洗いをしてからお茶を飲むことが身につけてきている。コロナウイルスについて絵本を通して保健指導を行い、3歳児なりに知ることができ、手洗い・うがいをする必要性を知った。

#### 次年度への改善点

- 継続した指導や個別の声掛けを実践したり、子ども変容に合わせて、指導内容を工夫したりして、全園児が習慣化できるようにする。
- 子どもの姿や興味・関心に合わせて、視覚物や指導方法をさらに工夫する。
- 保健指導の内容について保護者に分かりやすく知らせることで園と家庭が連携し、連続して取り組み子どもの生活の中に定着できるようにする。

# 令和2年度 学校関係者評価報告書

大阪市立三軒家西幼稚園 学校協議会

## 1、総括についての評価

- 年度目標は、すべての項目について、達成することができた。
- 新しい生活様式の中で、今年度ならではの保育実践を行うことで、園児が自分の思いを出しながら、のびのびと園生活を楽しむ姿が見られた。また、多様な経験が心の成長につながっていると理解した
- 日頃から今年度ならではの形で地域や小学校との関わりをもち、つながりを深め、信頼関係の構築とお互いの協力体制をつくることができた。このような幼稚園と地域とのつながりについて、さらに保護者が理解できるよう啓発する。

## 2、年度目標ごとの評価

### 1-1【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

- 保護者アンケートで、「自分や友達の良いところや好きなどころを知っている」という内容の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を80%以上にする。
- 達成状況の評価に関しては妥当である。

### 1-2【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

- 保護者アンケートで、「きまりや約束の意味を分かり、守ろうとしている」という内容の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を80%以上にする。
- 達成状況の評価に関しては妥当である。

### 1-3【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

- 保護者アンケートで、「地域や小学校・保育所などとの交流に興味・関心をもって参加している」という内容の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を80%以上にする。
- 達成状況の評価に関しては妥当である。  
今年度ならではの関わりの積み重ねが、子どもの心の成長につながっていることが理解できる。

### **2-1【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】**

○保護者アンケートで、「新しいこともやってみようとする意欲が見られるようになった」の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を80%以上にする。

○達成状況の評価に関しては妥当である。  
意欲的に活動していることが、よくわかった。

### **2-2【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】**

○保護者アンケートで、「身近な自然物に関心をもつようになった」の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を80%以上にする。

○達成状況の評価に関しては妥当である。

### **2-3【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】**

○保護者アンケートで、「幼稚園に通うようになって、体を動かすことが好きになり、体力が向上した」の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を80%以上にする。

○達成状況の評価に関しては妥当である。

### **2-4【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】**

○保護者アンケートで、「自分の体や健康への興味・関心が高まった」の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を80%以上にする。

○達成状況の評価に関しては妥当である。

### 3、今後の学校運営についての意見

- ・コロナ禍でも、教職員で連携しながら今年度ならではのできること、楽しい保育を展開していた感じが感じられた。
- ・保育参観で3学期の子どもが遊んだり、友達と活動したりする姿を見て、子どもの心の成長を感じることができた。
- ・次年度も社会状況に合わせて、子どもを心豊かに育てることができるよう、尽力してほしい。